

センター通信

親子の会話の大切さ



伊丹市保護司会
保護司 金山 督

「家族の間で会話と笑いがあること」が大切だといわれます。親と子の間の心の絆を深め、お互いの考えを理解し合うのに最も必要なものは、何といても親子の会話です。私たちの世代は、「以心伝心」ということが大事にされ、お互いに言葉に出さなくても理解し合うことが美德とされてきました。しかし、お互いに理解し合うには、自分の考えや意見を素直に述べ合うことが何より大切なことです。

思春期の子どもをもつ家庭では、「共通の話題」を探すのは難しいとお考えの方も多いと思います。最近発生している少年たちの犯罪事件などを取り上げてみてはどうでしょうか。同じ年ごろの子どもたちの起こした事件や目をそむけたくなるニュースなどは、家庭の中の話題から敬遠されがちですが、そんな事件だからこそ子どもとの会話の種に取り上げてみる価値があると思います。

子どもたちは、意外に大人たちの気づかない視点でそんなニュースを眺めているものです。「事件そのものは悪いことだけど、あの少年の気持ちはわかるような気がする」などの意見が聞けたら素晴らしいことだと思います。子ども自身が身の回りに起こっているさまざまな事件に、敏感に反応して自分なりの考えを持っていることが理解できるからです。

気をつけたいことは、事件に関して親の意見を押しついたり、親の判断と違うからといって無視したりしないことです。そうすると、親子の会話は成り立ちません。「なるほど、そうも考えられるか」という姿勢で受け止めることが大切です。また親の考えを伝えておくことも必要です。ひとつの事件をとおしていろいろな考え方があることを、親も子も理解できるチャンスにしたいものです。

親子の会話の種は、凶悪な事件ばかりではありません。朝のあいさつや食事のときの会話をもとにして、明るい話題や子どもの成長にとってプラスとなるような話題もぜひ取り上げてほしいものです。

青少年を守る店連絡協議会 総会・研修会 盛況裡に終了

去る、6月20日(月)、伊丹市立総合教育センターにて、青少年を守る店連絡協議会の総会および研修会が103名の参加者を得て大変盛況に開催されました。

総会後の研修会は、兵庫県警察本部 サイバー犯罪対策課 本田英理警部補をお招きして、「サイバー空間の危険から子どもを守るために」という演題で具体例を挙げながらご講演をいただきました。サイバー犯罪の最前線のお話を伺いながら、その便利さの陰に潜む恐ろしさに全員が聞き入っていました。最後に「みなさん。私とお友達になって下さい。」と参加者に呼びかけられ、サイバー犯罪関連で困ったときに連絡をすればご協力戴ける心強い味方ができた講演会でした。

知っていますか？ 少年進路相談員制度のことを！

中学校を卒業した子どもたちは、新たに進学の道・就職の道へと進んでいきます。

9年間の義務教育を終えて、自ら選んだ道ですが、今までとは違う新たな悩みが生じます。特に、中学卒業後の1年間は、新しい環境に適應できず、中退・離職へと進んでしまう子が多く存在します。そんな時、“親には言いたくない。先生にも・・・、友達にも・・・”というときに、自分の卒業した中学校区に住んでいる信頼できる2名の相談員が悩みを聴き相談に応じてくれます。本人はもちろん、その家族からの相談も受けています。

悩んでいることが
あればいつでも相談にのりますよ。



問い合わせは、伊丹市立少年愛護センター(780-3540)まで

阪神北少年サポートセンター (少年愛護センター隣接) の紹介

阪神北少年サポートセンターは、兵庫県警察本部少年育成課が管理する県下12カ所の少年サポートセンターのうちの1つです。

所属職員は警察官2名と少年の心理に専門的知識を有する少年補導職員2名の計4名で、伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町の3市1町を担当区域として活動しています。

以下、平成25年度の活動の概要を紹介します。

1 街頭補導

管内のJR、私鉄の主要駅周辺、ゲームセンター、カラオケボックス等少年のたまり場になりやすい場所を巡回し、喫煙、飲酒、怠学等不良行為をしている少年の補導マナー向上の指導・声かけを実施。

(298名補導)

・尼崎、西宮の少年サポートセンターと合同で、学校、各関係機関を巻き込んだ大規模街頭補導を実施し、繁華街における家出や福祉犯罪被害少年の早期発見と保護活動を実施。

2 少年相談

・非行問題、学校問題、交友問題等少年の悩み困り事相談を受け、指導助言を実施。(79件受理)

3 継続補導

・非行防止上、特に問題がある少年に対し、その問題が除去されるまでの招致面接や、家庭・学校訪問による指導を適宜な方法で実施。

(31人、64回)

4 有害環境の浄化活動

・少年愛護センターと連携し、有害広告、図書等の発見、ゲームセンターなど少年のたまり場の実態把握と指導を実施。

5 情報発信活動

・小・中・高等学校において薬物乱用防止教室等を開催し、非行防止の広報啓発活動を実施。

(46回)

・学校、関係機関との会合で警察の非行防止の活動等を伝え、連携強化と理解を依頼。(107回)

◆街頭補導の件数 《平成26年6月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	386	69	33	87	575
遊びに関して	41	19	2	0	62
ぐ犯・不良行為	0	12	3	0	15
交通に関して	7	10	53	90	160
計	48	41	58	90	237

◆電話・来所相談の件数 《平成26年6月》

	電話相談	来所相談
件数	20	5
前月比	+4	+2
累計	47	11

◆白ポスト回収状況 《平成26年6月》

	数量	前月比	累計
有害図書	300	+24	2,351
有害AV	311	-480	
計	611	-456	

白ポスト設置場所(市内16箇所)

車塚公園・阪急稲野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いたみホール
荒牧バラ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停
女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口駐輪場・西桑津バス停

7月の主な行事

7日(月) 少年補導委員連合会役員会・定例理事会
9日(水) 合同教育相談
10日(木) 少年を守る日 市内広報・一斉補導
10日(木) 伊丹・宝塚隣接四校連絡協議会
11日(金) 阪神地区青少年補導委員連絡協議会総会・研修会

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

15日(火) 少年進路相談員連絡会
15日(火) 夏季一斉パトロール
16日(水) 夏季一斉パトロール予備日
17日(木) 第1回少年愛護センター運営協議会
22日(火) 有害図書回収
25日(金) 神戸保護観察官駐在

* 地区懇談会は順次、各地区で実施されております。

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel: 780-3540)までお寄せください。